



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月25日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岡谷 篤一
 問合せ先責任者（役職名）企画本部企画部長（氏名）大塚 秀樹 (TEL) 052-204-8133
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	602,238	10.9	11,812	14.2	14,498	16.9	8,727	13.6
26年2月期第3四半期	543,156	4.7	10,342	20.6	12,397	21.5	7,683	21.1

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 22,682百万円 (△13.0%) 26年2月期第3四半期 26,078百万円 (797.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	906.38	—
26年2月期第3四半期	797.91	797.06

(注) 当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	458,524	155,725	32.2
26年2月期	406,481	134,647	31.2

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 147,742百万円 26年2月期 127,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	12.00	—	15.00	27.00
27年2月期	—	15.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	75.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

これに伴い、平成27年2月期期末の配当金予想は当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

なお、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定した場合の平成27年2月期第2四半期末配当金額は75円となります。詳しくは、後述の「株式併合に伴う配当の状況の遡及修正」をご覧ください。

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	800,000	7.5	15,000	7.0	17,000	1.5	11,000	7.4	1,142.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

これに伴い、平成27年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」に従い、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

※注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	9,720,000株	26年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	91,481株	26年2月期	91,112株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	9,628,709株	26年2月期3Q	9,629,106株

(注) 当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

(2) 平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。なお、株式併合同日付で単元株式数の500株から100株への変更を併せて実施しております。

株式併合に伴う配当の状況の遡及修正

当社は、平成26年9月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定した「配当の状況」は、下記の通りであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	60.00	—	75.00	135.00
27年2月期	—	75.00	—		
27年2月期(予想)				75.00	150.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	9
(セグメント情報等).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における世界経済は、米国を中心に緩やかな拡大が続き、日本経済は消費税増税の影響があったものの、補正予算が執行され、また追加金融緩和などにより緩やかな回復が続き、

このような状況下において、当第3四半期連結累計期間における売上高は、6,022億38百万円で前年同期比10.9%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が394億72百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益が118億12百万円（前年同期比14.2%増）、経常利益が144億98百万円（前年同期比16.9%増）となりました。また、当四半期純利益は87億27百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(鉄鋼)

鉄鋼部門では、国内の土木関連等の需要回復を背景として建材分野が順調でした。海外では、米国、中国が好調でした。

特殊鋼部門では、自動車関連を中心に順調でした。

鉄鋼セグメント全体では、売上高は2,617億91百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

(情報・電機)

非鉄金属部門では、スクラップの取扱いが伸び悩みましたが、電子部材を中心に堅調でした。

エレクトロニクス部門では、通信関連及びOA機器関連、自動車関連の電子部品が順調でした。

情報・電機セグメント全体では、売上高は1,210億20百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

(産業資材)

メカトロ部門、化成品部門ともに、国内外の自動車関連を中心に部品・工具、樹脂原料が順調でした。メカトロ部門では、特にアジア向けの設備機械の輸出が好調でした。

産業資材セグメント全体では、売上高は1,735億40百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

(生活産業)

配管住設部門では、住宅着工の減少及び子会社譲渡により微減となりました。

建設部門では、分譲マンションの販売が増加しました。

食品部門では、水産物の輸入が減少しましたが、子会社の取得により増収となりました。

生活産業セグメント全体では、売上高は458億85百万円（前年同期に比べ横ばい）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,585億24百万円となり、主に売上債権の増加や株式市況の回復に伴う投資有価証券評価額の増加により前連結会計年度末に比べて520億43百万円増加しました。

負債は3,027億99百万円となり、主に仕入債務の増加により前連結会計年度末に比べて309億66百万円増加しました。

純資産は1,557億25百万円となり、主にその他有価証券評価差額金の増加や利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて210億77百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成26年3月31日発表の予想数値を据置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,486	13,272
受取手形及び売掛金	183,660	205,403
商品及び製品	39,406	44,722
仕掛品	475	455
原材料及び貯蔵品	1,568	1,853
その他	9,233	10,929
貸倒引当金	△539	△492
流動資産合計	245,289	276,144
固定資産		
有形固定資産	40,243	39,816
無形固定資産	1,015	2,167
投資その他の資産		
投資有価証券	106,221	126,182
その他	14,111	14,667
貸倒引当金	△400	△453
投資その他の資産合計	119,932	140,396
固定資産合計	161,191	182,380
資産合計	406,481	458,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,340	130,978
短期借入金	101,187	96,617
未払法人税等	2,819	2,514
賞与引当金	996	1,944
その他	7,336	8,735
流動負債合計	221,680	240,791
固定負債		
長期借入金	18,139	22,932
繰延税金負債	26,217	33,241
退職給付引当金	1,901	1,922
役員退職慰労引当金	670	693
その他	3,223	3,218
固定負債合計	50,153	62,008
負債合計	271,833	302,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	69,074	76,356
自己株式	△449	△451
株主資本合計	85,551	92,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,461	53,879
繰延ヘッジ損益	△9	80
為替換算調整勘定	15	950
その他の包括利益累計額合計	41,468	54,910
少数株主持分	7,627	7,982
純資産合計	134,647	155,725
負債純資産合計	406,481	458,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
売上高	543,156	602,238
売上原価	506,923	562,765
売上総利益	36,232	39,472
販売費及び一般管理費	25,890	27,659
営業利益	10,342	11,812
営業外収益		
受取利息	927	1,005
受取配当金	1,502	2,052
持分法による投資利益	850	733
その他	552	827
営業外収益合計	3,833	4,619
営業外費用		
支払利息	1,238	1,270
手形売却損	32	29
為替差損	246	441
その他	261	192
営業外費用合計	1,778	1,933
経常利益	12,397	14,498
特別利益		
固定資産売却益	12	14
投資有価証券売却益	11	74
その他	—	1
特別利益合計	23	89
特別損失		
固定資産処分損	4	82
減損損失	—	118
投資有価証券評価損	0	0
持分変動損失	168	—
その他	14	0
特別損失合計	188	201
税金等調整前四半期純利益	12,232	14,386
法人税、住民税及び事業税	4,199	5,599
法人税等調整額	△30	△323
法人税等合計	4,168	5,275
少数株主損益調整前四半期純利益	8,064	9,110
少数株主利益	381	383
四半期純利益	7,683	8,727

四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,064	9,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,683	12,469
繰延ヘッジ損益	14	90
為替換算調整勘定	1,822	787
持分法適用会社に対する持分相当額	493	225
その他の包括利益合計	18,014	13,572
四半期包括利益	26,078	22,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,534	22,170
少数株主に係る四半期包括利益	544	512

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	226,746	112,717	157,797	45,894	543,156	—	543,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	909	1,034	483	1,094	3,521	△3,521	—
計	227,655	113,752	158,280	46,989	546,677	△3,521	543,156
セグメント利益	3,294	2,336	3,654	1,130	10,415	△73	10,342

(注) 1. セグメント利益の調整額△73百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	261,791	121,020	173,540	45,885	602,238	—	602,238
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,023	1,108	302	1,087	3,522	△3,522	—
計	262,815	122,129	173,843	46,972	605,760	△3,522	602,238
セグメント利益	3,569	2,494	4,551	908	11,523	289	11,812

(注) 1. セグメント利益の調整額289百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。